

ツイッターを使った集客方法

～フォロアーを増やしてファンを作る～

まず、ツイッターのサイトに行きたい場合、グーグルやヤフーなどの検索エンジンで「ツイッター」と入力し検索します。



そうすると、以下のように twitter.jp と twitter.com が出てきます。

[Twitter](#)

[twitter.jp/](#) - 類似ページ

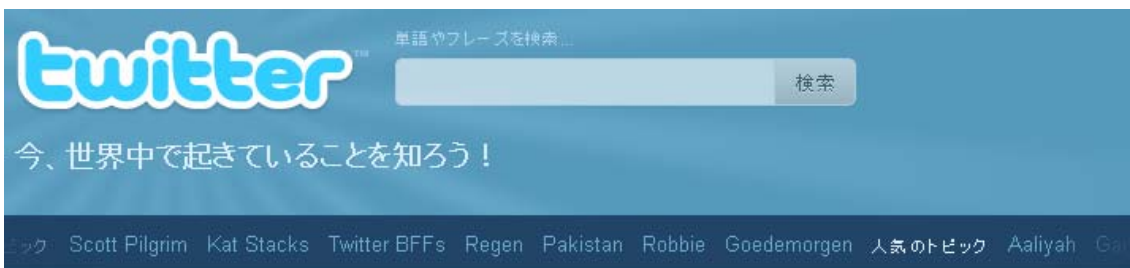
[Twitter](#) - [このページを訳す]

Twitter is without a doubt the best way to share and discover what is happening right now.

[twitter.com/](#) - キャッシュ - 類似ページ

昔はこの twitter.com というのは、海外サイトのツイッターに飛びました。これが本拠本元なんですが、今は日本からアクセスした場合は、どちら側をクリックしても、日本のサイトにちゃんと飛ぶようになっています。

クリックすると、以下のようなツイッターの画面が出てきます。



誰がTwitterを使ってる？

人気のツイート [すべてを見る](#)

 **egashira_250** 目の前に悲しんでる人を見つけたら何とかして笑わせたい。そのためなら警察に捕まってもいい。寿命が縮まってもいい。
6 hours ago

 **tadanoriyokoo** あゝでなきゃいけない、こうでなきゃいけないなんて、誰のための人生だかわからない。|まくこは基準がないというまくだけの基準があるだけだ。 <http://bit.ly/1Xgurj>
43 minutes ago

この画面で、誰がどんな発言とかつぶやきをしているかっていうのが会員にならなくても見るすることができます。

以下のように、歌手の広瀬香美さんであれば、この方がつぶやいているツイートと呼ばれるつぶやきをこのように無料で見るすることができます。

 **kohmi**

広瀬香美としましても、地球温暖化への対応を、じょじょにやっているからです。
笑 ぐふふ 笑う RT @samecox:
@kohmi そんなに香美 = 冬ってイメージはないですけどね。個人的には。

約6時間前 HootSuiteから

たまには、冬、日本中が、北極のように凍り付いてしまえばいいと、Alpenの社長さんと私は、祈っていると確信します。笑 RT @shoukaijp: なるほど
RT @kohmi 冬がないと、商売になりません。よって、冬は大好きです。ぶしゅ

約6時間前 HootSuiteから

ただ、このつぶやきに対して回答をしたい場合、または自分もつぶやいてみたい場合などは、会員登録しないとつぶやくことはできません。

会員登録というのは、簡単に以下のツイッターホームページにある「登録する」のボタンをクリックすることでできます。



クリックすると、以下のように登録画面が出てきますので、お名前とメールアドレス、そしてツイッター上でのユーザー名、ここが twitter.com/あなたのユーザー名というあなたのURLになります。

名前
名前はあなたの公開プロフィールに表示されます

ユーザー名
あなたの公開プロフィール: <http://twitter.com/ユーザー名>

パスワード

メールアドレス

他のユーザーがメールアドレスを手がかりに探せるようにする
注意: メールアドレスは公開されません

サービス利用規約 [印刷版](#)

サービス利用規約

この利用規約（“規約”）は、あなたが当社サービスやTwitterのウェブサイト（“サービス”）のアクセスと利用の際や、サービスを通じてアップロードあるいはダウンロード、表示の全ての情報やテキスト、画像、その他（これらを含み、これらに限定されず）に適用されます。サービスのアクセスと利用をおこなうときは、この規約に同意するものと見なされます。

下の「アカウントを作成」をクリックすることで、あなたは上記の[利用規約](#)と[プライバシーポリシー](#)に同意します。

メールアドレス入力部分にある、「他のユーザーが～」の部分なんですけども、ツイッター上には多くのユーザーがいます。

そして、ユーザーを検索する時に大体はツイッター上のユーザー名で検索するんですが、お友達になった方のユーザー名が分からない場合、メールアドレスだけで検索することができます。

または検索してもらうこともできます。

それで、検索されても大丈夫かどうかのチェックが以下の部分です。

メールアドレス

他のユーザーがメールアドレスを手がかりに探せるようにする
注意: メールアドレスは公開されません

その後、サービスの利用規約を見て、「アカウントを作成」をクリックします。

新機能の追加などに関する、Twitterからのお知らせメールの配信を希望

このチェックボックスは、ツイッターからのニュースとかお知らせが来ますので、ここは希望によって、チェックを外すなりして下さい。

「アカウントを作成」をクリックすると、以下のような画面が出てきますので、表示された文字と同じ文字を入力し「登録を完了」をクリックします。

the evaner

|

登録したメールボックスを開いてみると、以下のようにツイッターからメールが届いています。



ツイッターからメールが来た状態ではまだ、仮登録なので、メールの中にある登録確認のURLをクリックして下さい。

すると、登録が完了し、自分でつぶやいたり、人のツイート、つぶやきに対して回答をしたりすることができます。



つぶやきを入力し、「ツイート」ボタンをクリックします。右上に出ている数字は、1回のかつぶやきで書ける残りの文字数を表しています。

ホーム



これでつぶやきが完了しました。

このように1つつ、140文字ずつ、つぶやいていくわけですが、ただ何気ないつぶやきをしているだけでは、まったく意味はありません。

何気ないつぶやきというのは、お腹が減ったとか、今日は暑いねとか、多くの人がただ単につぶやいているだけなんですけど、それではただの趣味なので、ツイッターを使って集客するためには、他の人が見た場合、へーとかそうなんだって興味のある記事を書いたり、ホームページもここで紹介することができるので、つぶやきの中にホームページアドレスを書くこともできます。

そして、つぶやく文字数なんですけど、140文字なので、140文字以上は打てないと思われがちなんですけども、何度も何度もつぶやけますので、いくつもつぶやいて記事にしまえばいいということです。

記事にしまえばいいというのは、2行でつぶやいて、次は3行とか、少しずつ少しずつ記事を作っていく、つぶやきを10個ぐらいつぶやけば、それなりに記事として、ブログのようにまとまったページになります。

なので、1つつぶやくだけではなくて、ブログを書く感覚で、つぶやいていかないとだめです。

そして、ホームページのURLを入力してつぶやいてみると、以下のようになります。

ホーム



irontarou <http://yahoo.co.jp>
5秒以下前にwebから

入力したアドレスの部分にマウスを持っていき、クリックするとそのまま自然に飛べるようになっています。

なので、これを使わない手はないということです。

自分の新しい商品とか、お店の告知とかもできるわけです。ツイッターというのは1つのコミュニティなので、自分の既存のお客さんたちにツイッターを始めましたと、

これからはツイッター上で新しい商品が入った場合は、どんどん紹介していきますというような、告知をしておいて、その後、こうやって実際にツイッター上に、商品が入りました、詳しくはこちらのホームページを見て下さいねってということで、紹介することができるわけです。

そして、ツイッターというのはここに記事を書けば、自分をフォローしてくれている人、フォローというのは、今はアカウントを作っただけなので、「フォローしている」「フォローされている」というのはゼロなんですけども、フォローされているというのは、こちらが書いた記事を向こうが常に見てくれるということです。

これはどういうことかと言いますと、例えば勝間さんの記事を読んで、この人結構おもしろいなと、この人が記事を書く度にいちいち、こうやって見に行かなくても、お知らせが来ればいいなと、いうふうに思いますよね。

その場合は、この勝間さんをフォローすることができます。フォローするというのは、つぶやいたら、こちらに教えて下さいということが出来ます。そして、メールで返信するように、返答を書くことも出来ます。

ただ、見てくれるかどうかというのは別問題ですけども、このように双方向でやりとりが出来るということです。

では、実際にフォローをしてみたいと思います。まずは、ツイッターの画面右上にあります以下の「友達を検索」をクリックします。

ホーム プロフィール **友だちを検索** 設定 ヘルプ ログアウト

そうすると、以下のように誰を検索しますか？と出てきますので、

Twitterで検索 おすすめユーザー あなたへのおすすめ 友だちを探す メールで招待

すでにTwitterアカウントを持っている友達、グループ、企業などを探すことができます。

誰を検索しますか？

例:「鈴木」や「鈴木太郎」。または「〇〇商事」

検索

ここで、メールアドレスで検索したり、ツイッターのアカウントで検索したり出来るわけですが、何も知り合いをフォローしなくても、「おすすめユーザー」とか、自分の趣味に合うユーザー、またはタメになる記事を書いているユーザーをフォローすることができます。

ビジネスであれば、以下のように企業系のツイッターもあれば、孫さんや三木谷さんのような企業の社長さんが書いているような、ツイッターもあります。

WEB

キャラクター

ツイッター

ビジネス

ミュージシャン

ワールドカップのおすすめ

政治

文化・スポーツ

芸能人

ビジネス



三木谷浩史 H. Mikitani 本人確認済み

@hmikitani

現在地:

自己紹介: CEO, Rakuten Inc.

+ フォローする



無印良品 MUJI.net

@muji.net

現在地: 全国の無印良品

自己紹介: 無印良品の公式ウェブサイト「MUJI.net」のアカウントです。新商品やお買い得情報、Twitter限定キャンペーンなど、MUJI.netの“いま”をお届けしていきます。お急ぎのお問い合わせ、ご質問は公式サイトからお願いします。

+ フォローする



モスバーガー

@mos_burger

現在地: 東京都品川区

自己紹介: 株式会社モスフードサービスが運営するアカウントです。日頃よりモスバーガーならびにグループ各店舗をご利用いただき、ありがとうございます。「おいしさ、安全」にこだわった商品を「真心と笑顔のサービス」で提供しています。ご来店を心よりお待ちしております。

+ フォローする



ユニクロ

@UNIQLO_JP

現在地:

自己紹介: ユニクロ公式Twitterアカウントです。キャンペーン、お買い得、商品情報を発信していきます！頂いたコメントは今後のサービスの拡充に向けた貴重なご意見として賜らせて頂きます。

+ フォローする

そして、孫さんの記事を今後も読みたいということになれば、赤枠で囲った「フォローする」というこのボタンを押します。そうすると、以下のようにフォロー中と表示され、



孫正義 本人確認済み

@masason

現在地:

自己紹介: 孫正義です。Twitterで多くの皆さんと時空を超えて、心の繋がりが広がっていく事に感動しています。初めてInternetに出会った時以来の感動です。世界が平和でより多くの人々が、幸福になれる事を心から願っています。

+ フォローする

孫さんが何かつぶやいた場合は、自分のところへお知らせが来るわけです。これで、自分は孫さんはフォローしているということになります。

そうすると、以下のようにフォローしている数が1になります。

1
フォロー
している

孫さんをフォローしているので、フォロー1です。そして、同じように自分のことをフォローしている方がいれば、以下のフォローされている数が増えるわけです。

1
フォロー
されている

このフォローされている数が増えれば増えるほど、要は自分でメルマガの読者を持っているのと同じことですよね。ここが300人、400人いれば、自分が何か書いた時に、その方のトップページに記事、つぶやきが行くわけです。

すると、その時は興味がなくても、他の何か告知をした時に、興味があれば、先ほどのヤフーのURLをクリックした時のように、サイトに飛んできてくれたりするわけです。

こうやってツイッターというのは、まずは人をフォローしていく。

今は孫さんをフォローしましたが、孫さんだけではなくて、一般の方、他の方をフォローすると、ツイッターの礼儀として、フォロー返しというのがあります。

フォローされると、自分のメールアドレスにあなたがフォローされましたよとお知らせが来ます。例えば、Aさんをフォローすれば、Aさんは必ず自分のメールを見るわけです。そうすると、私がAさんをフォローしたという連絡がツイッターから行っていますので、Aさんは私の方を一旦見に来てくれるわけです。

そして、礼儀として、フォローして頂いた方にはフォロー返しというがあるので、同じくこちらをフォローしてくれるわけです。

なので、100人のフォロワーが欲しければ、自分のまずは100人ぐらい、いろいろアクセスして、フォローさせてもらって、そしてフォローし返してもらおう。

そのためには、同じような趣味の方、同じようなビジネスの方をフォローしていくというのが有効的です。

闇雲にフォロワーを増やしたいがために、あちこちまったく関係なく、野球を好きな人から、料理が好きな人、釣り好きな人も、むちゃくちゃフォローしていったら、当然その間、フォロワーは増えるわけです。

1000、2000なんて簡単にいくんですけども、それでは集客に関してはあまり意味がないです。

ですので、集客で使いたい場合、もしあなたが不動産屋さんであれば、学生の方とか、家を探している方とか、家を買って失敗した人とか、そういうような話をしている人、例えば、不動産に興味がある人とか、そのような方をどんどん検索して、記事を見つけて、フォローしていくわけです。

そして、自己紹介のところに私は、不動産をやっています、不動産でお困りの方、こちらまでご連絡下さいとか、格安の良い物件があれば、全国規模で紹介していますので、またサイトに見に来てくださいなっていうふうに書いておくわけです。

そして、日々つぶやくわけです。

日々つぶやくというのは、例えば、東京の八王子に2LDKで綺麗なマンションが5万円で出ました、まだ空いていますので、どうぞっていうようなこともできますし、

不動産屋でなくても、例えば中古車屋さんでも、新しい車が入りました、今回はBMWです、外車好きの方はぜひどうぞっていうふうに細かくつぶやいていくわけです。

そうすると、国産車では興味はなかったけども、BMWならクリックするという人もいれば、その逆もいるわけです。

そうやって自分のビジネスに関係のある人たちを、どんどんフォローしていき、フォローし返してもらう。そして、その人たちに興味のある内容、記事、何も特別な記事ではなくて、必ずあなたの業界の裏話っていうのがあると思います。

賢い中古車の買い方とか、絶対に買ってはいけない中古車とか、車を買うときはここだけは見た方がいいよとか、というようなことをどんどん書いてあげるわけです。

毎回毎回、売込みとか告知をされても、知らされる方はいやなものなので、そうやってどんどん有益な情報を書いていきます。

それは他の媒体と連動させればいいわけです。

ツイッターでも書けし、そのままツイッターでの記事をコピーして、ブログに貼り付けたり、メルマガで流したりって
いうふうにどんどん使えますので、

まずは記事を作って、どんどん使いまわして、興味を持ってもらう。

そして、定期的にお知らせをして、ファンを増やしていく。

地元の方であれば、電話してくる方もいるでしょうし、お店に来てくれる方もいます。

結構、ツイッターというのは昔、流行ったミクシィでご近所さん探しですね、昔ミクシィは、同窓会とかですね、
あの人どうしてるのかなというようなものに利用されたんですね。

地域で検索すると、結構出てくるからなんですけども、そのようにツイッターでも自分のところのお店とか、ロ
コミっていうのも書かれていますので、あの美容院に行ってきたけどよかった、というようにお客さんが書いたり
していますので、以外とオフライン、実際の店舗のビジネスにも活かせるんですね。

みんな、ツイッターツイッターって言っててですね、最近はツイッターでビジネスを加速させようとかいうふう
に書かれていて、本もたくさん売ってるんですけども、それをよく見れば、ビジネスに役立てるためには、孫さんの
考えを学ぼうとか、三木谷さんの手法をっていうような、違う考え方とか、そういうマインド的なものなん
ですね。

そうではなくて、実際にお客さんを呼びたいわけですから、ツイッターを使ってどうやれば、お客さんが来てく
れるのか、フォローするにはどうすればいいのか、どのような人たちを自分が巻き込んでいけばいいのかって
いうようなことは、ほとんど書かれていません。

なぜならば、その本を書いておられる方っていうのは、自分でツイッターで集客してビジネスに生かしたって
いう経験がないからなんですね。

これは、ブログとメルマガっていう同じようなノリで、とにかくマメにやっていくことが大事なんですね。

ただ、記事を使いまわせますので、そんなに労力はかからないと、1日1回、出来事があったり、お知らせが
あれば書く時間を設けてもらって、記事を用意しておいて、ツイッターに貼り付け、ブログに貼り付け、メル
マガに貼り付けます。

そして、各サービスを使えば、連動させることもできます。あるサービスでつぶやけば、ツイッターにもつぶやかれて、登録してあるブログにも書けるというふうに連動することができるので、そういうサービスを使ってやっつけば、本当に最小限の手間で、リアルなお客さんを呼び込むことができます。

そして直接、返信で反応が得られるわけですから、お客さんの声を取ったりとか、アンケートを取る場合でもすぐ役に立ちます。

新しい商品をいきなり作って売るのはなく、今このような商品開発をしていますけども、他にあったほうがいいという機能はありますか？とか、大体いくらぐらいまでなら買いますか？とか、そういうことがどんどんできるわけです。

そして、なにも有名人のように何万人もフォローされなくても、1000、2000あれば十分です。

少なくとも言えば、500人とかでも十分アンケートは取れるわけです。

500人の人が言ってくれる意見であれば、十分参考になります。

そして、普通にツイッターを回って、いろいろフォローしていけば、あっという間に500人ぐらいにはなりますので、しかも無料のサービスですから、ぜひともツイッターを活用して頂ければと思います。